

水の森キャンプ場に生息する トウホクサンショウウオ 保護プロジェクト

宮城学院中学校高等学校 自然科学班

背景

2021年3月29日撮影



これは何の卵でしょうか・・・？

背景

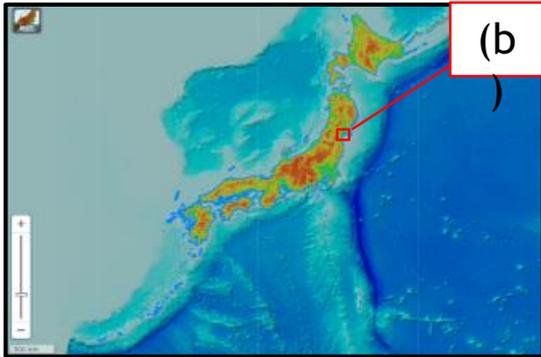
202



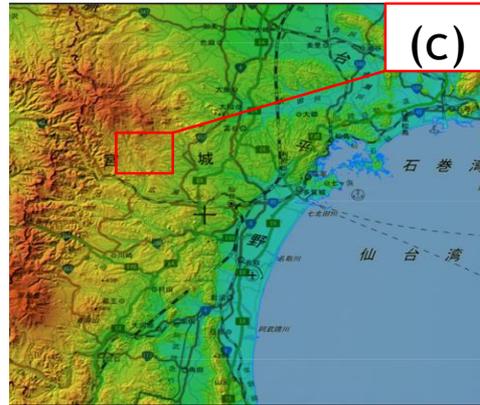
トウホクサンショウウオの卵

背景

(a)



(b)



1977年に「丸田沢
キャンプ場」として開
場し、今に至る。

(c)



水の森キャンプ場

宮城学院
中学校高等学校

背景

2022年3月29日撮影



しかし今年も、8対の卵が産まれていました！

背景



ただ、産卵地の状況は悪く、
きれいな水辺ではない・・・。
このままだと絶滅してしまう。

産卵する環境を再生したい！！

☐種の保存につながる

☐継続には、地域の方々の協力が必要

目的

水の森キャンプ場のトウホクサンショウウオの産卵地を整備し、トウホクサンショウウオのふるさとを守っていく。

地域の方々と連携し、皆で産卵地を守っていくきっかけを作る。

これまでの私たちの活動

泉区 朴沢にて

2021年7月18日撮影



- 産卵地を整備
- 環境調査のため、水質調査を実施しながら行った。

2021年12月23日撮影



2021年1月15日撮影



これまでの私たちの活動

2022年4月2日撮影



今年、整備場所に産卵。産卵数も増加。

- ・ 水質調査の結果、良好な水質で産卵することを確認。
- ・ きれいな水が循環する環境が必要。

現状と目標

<現状>



<目標>



<現状>

水が循環しにくい側溝に産卵。環境はあまりよくない。

<目標>

調査の結果、水質がよい方が産卵する可能性が高い。

➡水が循環する水辺をつくる。

実施計画

<6月～>

産卵場所整備計画の立案，水質検査

<8月～>

水の森キャンプ場管理事務所の方々，
地域の方々との連携，打合せ

<10月～12月にかけて>

産卵場所の整備，水質検査

<11月～>

チラシ，ポスター，パンフレットの作成，
掲示

<1月～2月にかけて>

産卵場所の準備，水質検査，産卵に向けた利用者への
ワークショップの開催（水の森キャンプ場，地域の方々との連携）



※トウホクサンショウウオは環境に敏感。日々水質検査を
重ね，適した環境づくりに生かしていく。

まとめ

<背景>

水の森キャンプ場の側溝でトウホクサンショウウオの卵囊（8対）を発見。産卵場所の環境が悪く、今後継続した産卵が続くのは難しい状況にある。

➡産卵場所を整備，拡大し，トウホクサンショウウオのふるさとを守りたい！

<目的>

■水の森キャンプ場のトウホクサンショウウオの産卵地を整備し，トウホクサンショウウオのふるさとを守っていく。

■地域の方々と連携し，皆で産卵地を守っていくきっかけを作る。➡継続した産卵地の保護につなげたい。

<実施>

■昨年度の経験と実績を生かし，周囲の協力を得ながら産卵場所を整備するとともに，地域の方々や利用者の方々に周知し，持続した保護の土台をつくる。

参考文献

- 1) 宮城県の希少な野生動植物種—宮城県レッドデータブック2016—
pp244—251
- 2) 宮城学院女子大学構内における準絶滅危惧種トウホクサンショウウオの産卵
地の発見と個体数の推定, 宮城学院女子大学研究論文集 130
- 3) 小山 均: 丸田沢緑地環境保全地域の動物相, 丸田沢緑地環境保全地域学
術調査報告書, 127- 171 (2000)
- 4) 松井考爾: 日本の両生類・爬虫類 自然観察シリーズ22 (1985)

※杜の都の市民環境教育・学習推進会議「令和3年度[環境社会実験]未来プロジェクトin仙台」委託事業

※公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 2022 科学教育振興助成

サンショウウオ
保護しています！



宮城学院中学校・高等学校 自然科学班

ご清聴ありがとうございました！